

2016/11/08開催・第5回産業金融フォーラム

第5回産業金融フォーラム  
現場での価値創造に動く金融  
～大都会における地方を超えた地方創生～  
アンケート集計結果

2016.11

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第430号  
加入協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
日本証券業協会

<http://www.fromhc.com>  
<http://www.facebook.com/hcasset>

人+産業金融=成長  
成長を支える投資の原点へ



# 参加者データ

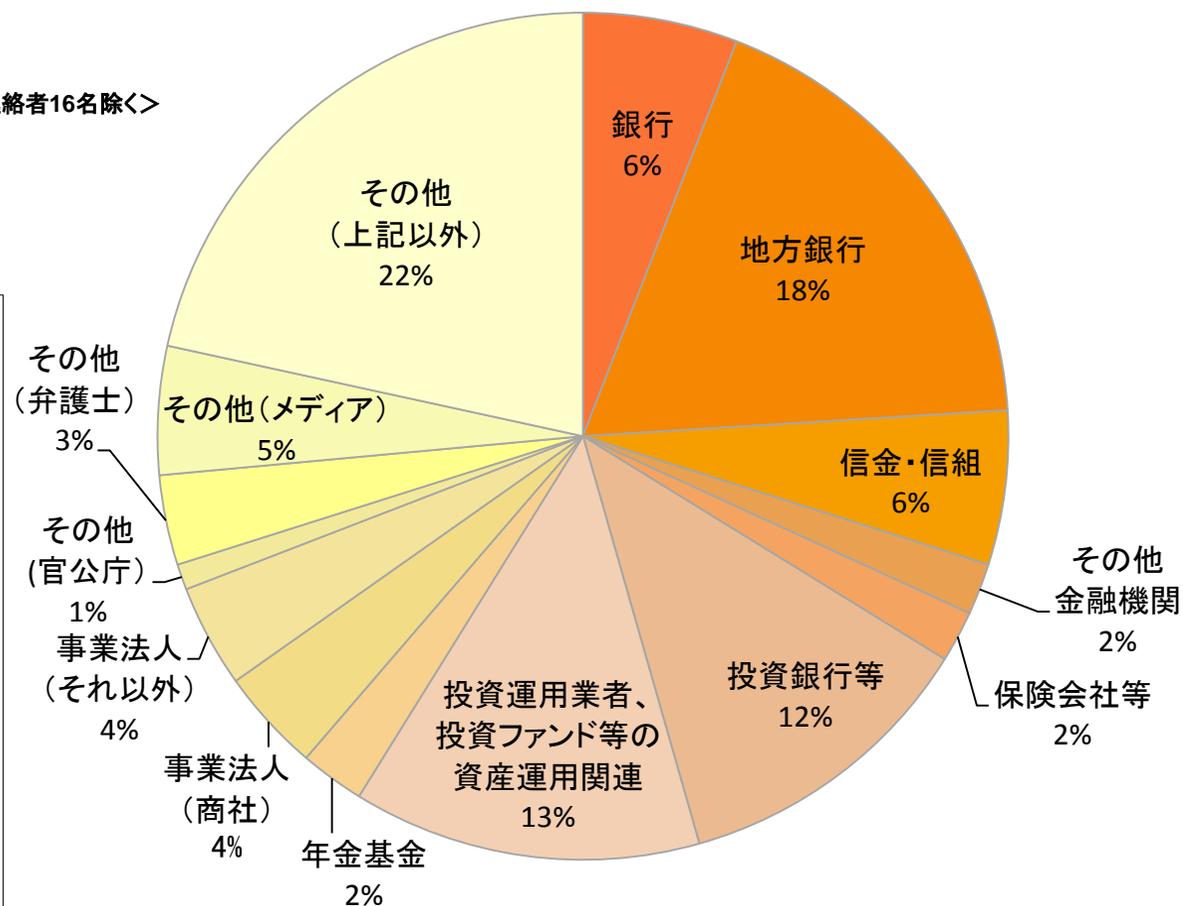
- 全参加者 257名(関係各社、登壇者等含む)
- 全参加者 204名(関係各社、登壇者等含まない)
- 全申込者 260名(関係各社、登壇者等含まない)
- 参加率 80% (関係各社、登壇者等含まない)

※参加率計算式:参加者204名<当日参加者8名除く> ÷ 申込者260名<欠席連絡者16名除く>  
小数点以下切り下げ

## ■ 参加者内訳 (関係各社、登壇者等含まない)

- ・銀行:12名
- ・地方銀行:37名
- ・信金・信組:12名
- ・その他 金融機関:4名
- ・保険会社等:4名
- ・投資銀行等:24名
- ・投資運用業者、投資ファンド等の資産運用関連:27名
- ・年金基金:5名
- ・事業法人(商社):8名
- ・事業法人(それ以外):8名
- ・その他(官公庁):2名
- ・その他(弁護士):7名
- ・その他(メディア):10名
- ・その他(上記以外):44名

計204名



金融のあり方についてアンケートを実施。

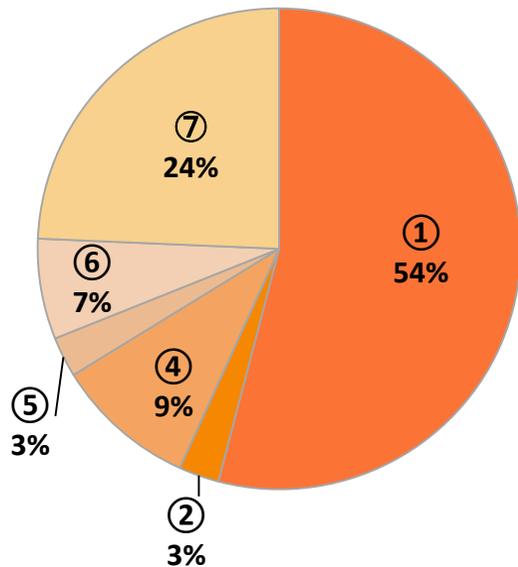
- ・フォーラム参加者人数

計204名（関係各社・登壇者等含まない）

- ・アンケート回答者人数

計74名（回答率37%）※小数点以下切り上げ

# アンケートにご協力頂いた方の業種別割合



- ① 銀行、信用金庫等の金融機関・・・40名
- ② 保険会社等・・・2名
- ③ 投資銀行等・・・0名
- ④ 投資運用業者、投資ファンド等の資産運用関連・・・7名
- ⑤ 年金基金・・・2名
- ⑥ 事業法人・・・5名
- ⑦ その他・・・18名

合計 74名

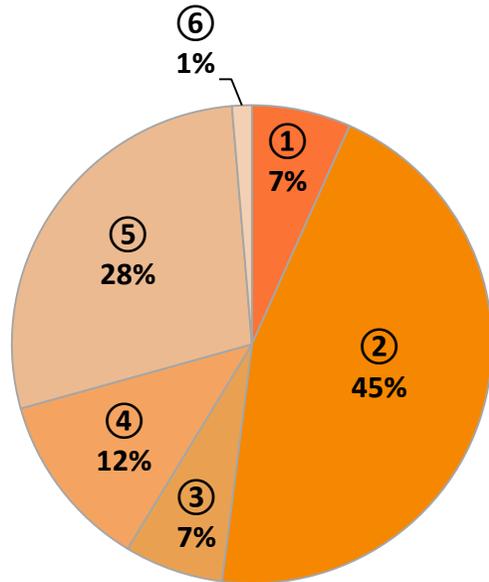
## 【⑥の回答】

・コンサルティング業・総合商社・ICT

## 【その他(それ以外)の回答】

・経済団体・経営コンサルタント(中小企業診断士)・弁護士・地方自治体(地方創生のヒントに)・事業承継のアドバイザー・事業再生コンサルタント

Q1 金融庁が推進する、「動的な監督」が浸透するためには、何が重要とお考えでしょうか。一番近いと思われるものを一つだけお選び下さい。



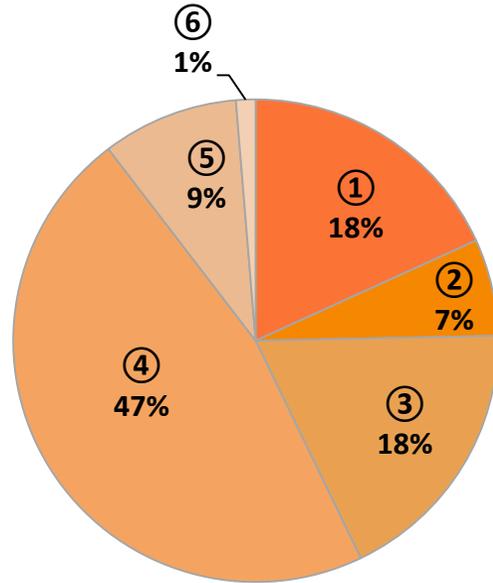
- ① 金融庁の強い指導力・・・5名
- ② 金融機関の経営者並びに従業員の意識改革・・・34名
- ③ 顧客サイドの金融機関との接し方に関する意識改革・・・5名
- ④ 金融庁と金融機関との建設的対話の推進・・・9名
- ⑤ 金融機関と顧客が共通の利益を創出できる徹底的な話し合い・・・21名
- ⑥ その他 ……1名

合計 75名

※重複選択者  
②・④・・・1名

②と⑤が多く選択されたが、業種別で見ると金融機関の参加者の半分以上が②を選択したことが特徴的

Q2 資金調達側産業界と、資金供給側金融機関との共通価値の創造が上手く機能するためには、現実的に(必ずしも、理想的にということでもなく)、何が最も重要とお考えでしょうか。一つだけお選び下さい。



- ① 金融機関が積極的に融資できる環境をつくる・・・14名
- ② 社債等の資本市場調達へ重点を移行する・・・5名
- ③ 規制緩和により資金供給主体の多様化(富裕層個人等)を図り、競争状態を造り出す・・・14名
- ④ 産業界と金融界が徹底的に対話を続ける・・・36名
- ⑤ その他・・・7名
- ⑥ 無回答・・・1名

合計 77名  
 ※重複選択者  
 ①③・・・1名  
 ①④・・・1名  
 ③④・・・1名

【⑤その他の回答】

- 政府と産業界、金融界との供調
- 金融庁行政によるベンチマークの再構築
- 適正な金利水準
- 景気回復
- 健全な企業の存在を損う「死に体」の企業の市場からの退出を促進
- 金融機関側のマインドセット
- 共同(協働)プロジェクト案件(≒④)

④が多く選択されたが、特に「その他」の業種の参加者が多い。③の選択は、「資産運用関連」の業種の参加者が多い